

森林保険センター 職員募集

森林保険は
万が一の災害に備える
森林のための損害保険
です



森林保険センターで、
一緒に働きませんか？



昭和12年に森林所有者の方々の声により生まれた森林保険制度は、
森林所有者自らが災害に備える唯一のセーフティネットとして、
林業経営の安定や、被災地の早期復旧に大きな役割を果たしています。
森林に確かな安心を、一緒に届けていきませんか？



受付期間 **令和3年7/2(金)～7/30(金)**

1次試験(筆記) **8/7(土)～8/17(火)**

2次試験(面接) **8/30(月)**

※応募方法等については「職員募集要項」をご確認ください。



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林保険センター

神奈川県川崎市幸区堀川町66-2
興和川崎西口ビル9階

TEL : 044-382-3500





森林保険は…

台風などの万が一の災害による、森林損害への大切な備えです。

森林保険は、「森林保険法」（昭和12年法律第25号）等に基づき、森林所有者を被保険者として、森林についての火災、気象災（風害、水害、雪害、干害、凍害、潮害）、噴火災、による損害を総合的に補償するものです。

森林保険制度は平成26年度までは国営で行われていましたが、平成27年度より行政のスリム化及び効率的・効果的な森林保険の業務運営によるサービスの向上のため森林総合研究所（現在の森林研究・整備機構）に移管され、新たに設置された森林保険センターによる業務が開始されました。

保険金の支払い対象となる8つの災害



森林保険センターの役割

安定した林業経営のお手伝いをしています。

森林の生育には長い時間が必要ですが、災害によりその価値が一瞬にしてなくなる可能性があります。

森林保険は台風などの万が一の災害に備えられる唯一の手段であり、森林所有者様の林業経営を影ながら支えています。



森林保険センターの保険金お支払事例

群馬県桐生市では平成25年5月に山火事により約9haの森林が焼失、その翌年、平成26年4月にも山火事が発生、1週間以上にわたって燃え続け、市有林143haを含めた191haが焼失し、群馬県における戦後最大規模の林野火災が発生しました。



山火事の様子



山火事跡地

市有林の約17%を焼失してしまいましたが、森林保険支払いのための損害調査が速やかに実施され、市へ約1億1千万円の保険金が支払われ、森林を失った経済的損失が速やかに補てんされました。

お客さまの声 ～加入してよかった！森林保険～



山が災害にあった際、支払われた保険金のおかげで植え直すことができ、満足しています。（林業家）



造林を行った社有林25haが凍害により枯れてしまいましたが、森林保険に入っていたおかげでわずかな負担で速やかに造林することができ、大変助かりました。今では見事に緑が回復しております。（A会社）

職員の仕事紹介

● こんな仕事をしています

私は、保険金をお支払いするための書類審査を担当しています。事務仕事ですが、森林組合の方々を対象にした損害調査の講師や、災害現場での指導などの出張も多い仕事です。

最近、スマート林業が注目されていますが、森林保険でも平成29年から損害調査にドローンを使用しています。さらに、次世代の手法として衛星画像の利用も検討しているところです。

こういった分野については、当機構の森林総合研究所と連携しており、研究者と共に検討を行うことで、最先端の研究や技術に触れる機会が多いのも審査業務の特徴です。私自身も、GISの操作や災害現場でのドローン飛行を行って検証しています。やる気とアイデアで、仕事の幅が無限大に広がるのもこの職場の魅力です。



● こんな職場です

昨年9月、我が家に娘が産まれました。産後の妻を支えるため育児休暇を取得したのですが、大変貴重な経験となりました。

森林保険センターは育児休暇や在宅勤務制度など、子育てをサポートする制度がありますし、父親の育児への参加に理解があるので、ワークライフバランスをしっかりと考えたい方にもお勧めです。

保険業務課 保険審査第一係長 小畑 暢

9:00	出勤、一日の作業をチェック
10:00	森林組合連合会などからの問い合わせ対応
12:00	休憩・昼食
13:00	森林総合研究所とオンラインで打合せ
15:00	支払い書類の審査、ドローン講習資料作成
17:45	業務終了



● こんな仕事をしています

私は、森林所有者などのお客様から振り込まれた保険料の入金管理や、お支払いする保険金、保険センターの運営経費などの支払業務を行っています。

経理課では、お金の動きから職場で起きていることを知ることができます。常に正確さが求められますが、大量の案件を処理し、ぴったり数字が合った時には、大きな達成感を味わうことができます。

普段は事務仕事ですが、業務部の応援で現場に出張することもあります。山に入り、倒れた木々を見ると心が痛みますが、再び森林を再生させるためのお手伝いをする仕事に誇りを持って働いています。

保険経理課 保険経理第一係員 佐瀬 美和

9:00	出勤、メールチェック
9:10	入金管理情報の確認・伝票の作成
12:00	休憩・昼食
13:00	事務用品の在庫確認・発注準備
15:00	取引業者にメールなど
16:00	請求書に基づき伝票作成
17:45	業務終了

● こんな職場です

社会人1年目は、職場に馴染めるだろうかといった不安もありましたが、仕事で困ったときは周りの方が優しく教えてくれました。私は、林業とは全く関係のない学部を卒業し、森林や林業の専門的な知識はありませんでしたが、林業関係やドローンの研修の受講など、勉強できる機会の多い職場です。

通常は定時で帰り、趣味や勉強の時間を取って充実した毎日を過ごしています。

森林保険センターの業務

森林保険への加入促進及び保険金の支払い業務を主に行っています。

契約事務、損害評価事務等については、森林保険業務を永続的、安定的、効率的に運営するため、森林組合、森林組合連合会に委託しています。



組織概要

名称	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林保険センター
設置	平成27年4月1日
主な業務	森林保険
構成	保険総務部 (保険企画課・保険経理課) 保険業務部 (保険推進課・保険業務課) リスク管理室

アクセス・お問い合わせ先



最寄り駅 JR川崎駅北改札より徒歩約8分
京急川崎駅西口より徒歩約6分

住所 〒212-0013
神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2
興和川崎西口ビル9階

電話 044-382-3500 (代表)
(担当: 中澤・土屋)

Mail hoken-jinji.fic@green.go.jp

※採用に関するお問い合わせは、
メールでお願いいたします。





採用されたらどんな仕事をするのですか。

森林保険センターの業務全般（保険の加入促進及び契約、保険金の支払いなど直接保険に関わる業務から、企画・経理など総務関係の業務まで）を経験していただきます。

最初は、配属された系の業務について先輩職員などから学び、具体的な事務に取り組んでいただきます。



保険の知識や経験はありませんが大丈夫でしょうか。

採用されてから知識・技術等を習得していただくことになりますので、大丈夫です。



応募するにあたって必要な資格やスキルはありますか。

職員募集要項の条件を満たすことが必要となります。

オフィス内でのデスクワークが中心となりますので、パソコンスキル（文書作成、表計算等）のほか、出張の際に自動車の運転をすることもあるため、自動車運転免許を取得していることが望ましいです。



森林の中で行う業務もありますか。

保険金をお支払いした現場などへの出張があり、森林の中で行う業務もあります。



外回りなど保険の営業の仕事もありますか。

一般的な損害保険会社という営業の外回り業務はありませんが、都道府県や市町村、その他森林を所有している事業者などに対して森林保険を紹介して加入をお勧めする仕事があります。



国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林保険センター

〒212-0013

神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2 興和川崎西口ビル9階

TEL: 044-382-3500（代表）

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/fic/>



森林保険

検索